

## 1. 引違いサッシ全閉時のすきま風

引違いサッシは、障子の全閉時にそのすきまを塞ぐために、枠や障子にパッキングなどの気密部品を取り付けていますが、風が吹くと室内外に気圧差が生じてこの気密部品の接触部分から空気が入りし、すきま風となります。このすきま風を規制する性能を気密性能といいます。

従って、引違いサッシの気密性能は、枠と障子の接触部分から出入りする空気の量で示します。この出入りする空気の量が少ないほど性能がよいといえますが、日本工業規格（JIS）では、この空気の入りを認めたものになっており、空気の入りを遮断しなければならないことを規定してはおりません。

例えば、住宅用引違いサッシの気密性能は、一般にA-3等級またはA-4等級に該当します。A-3等級で定められている空気の入りする量は、サッシ面1m<sup>2</sup>当たり1時間に8m<sup>3</sup>以下であり、また、A-4等級では2m<sup>3</sup>以下となっており、A-4等級の性能が良いこととなります。

すきま風がかなり激しいと感じられる場合、サッシ各部の調整が不十分であることが考えられます。なお、換気扇を使用した場合は、強制的に空気を室外に排出することになるので、気密材と枠または障子の接触部分から空気が入ることがあります。調整については、メーカーが発行している取扱説明書等をご参照ください。